

# シマ de シンポジウム

## 南部地域の芸能 × しまくとぅば

十五夜の舞台の出し物として伝えられてきた芸能、途絶えていたものを復活させた芸能、琉球王朝と深く関わりがある芸能。それぞれの地域の方々の強い思いと努力によって伝えられてきた芸能が数多くあります。それぞれの地域の方々は生まれじまへの誇りをもってしまくとぅばや芸能を継承してきました。

入場  
無料

日時：2018年2月18日(日)  
14時開演

会場：与那原町コミュニティセンター  
(与那原町字与那原 712 番地)  
tel. 098-835-8220

### 第1部：民俗芸能の実演

南風原町喜屋武の舞方、八重瀬町の友寄の獅子舞、志多伯の棒

### 第2部：南部地域の芸能と

コーディネーター：崎山 律子  
パネリスト：宮城 鷹夫  
大城 和喜  
神谷 武史

八重瀬町志多伯の棒「武の舞」



南風原町喜屋武の舞方棒



八重瀬町  
友寄の獅子舞

### 南部の芸能



コーディネーター／崎山 律子  
フリージャーナリスト。琉球放送等を経て、沖縄県文化振興会で、かりゆし芸能公演チーフディレクターとして琉球舞踊の公演事業を手がける。



パネリスト／宮城 鷹夫  
佐敷出身。沖縄県文化協会顧問。ジャーナリストとして文化・教育・芸能分野に力を注ぎ、地域の文化の継承と発展に取り組んできた。



パネリスト／大城 和喜  
南風原町文化協会会長。南風原町文化センター館長として、伝統芸能の掘り起こしと人々が集うセンターづくりを手掛けてきた。



パネリスト／神谷 武史  
志多伯出身。組踊の立方として舞台に立つ一方八重瀬町民俗芸能連絡協議会をはじめ、地域の民俗芸能に取り組む方々のバックアップをしている。

地域文化継承支援事業では、「シマ de シンポジウム」と題して沖縄の各地域の伝統行事や言葉など、毎回2つのテーマを取り上げて、地域文化の現状や課題、それに取り組む方々の思いを伝えていく事業です。平成29年度 地域文化継承支援事業